

王寺町の家計簿

平成23年度 決算報告

全会計において

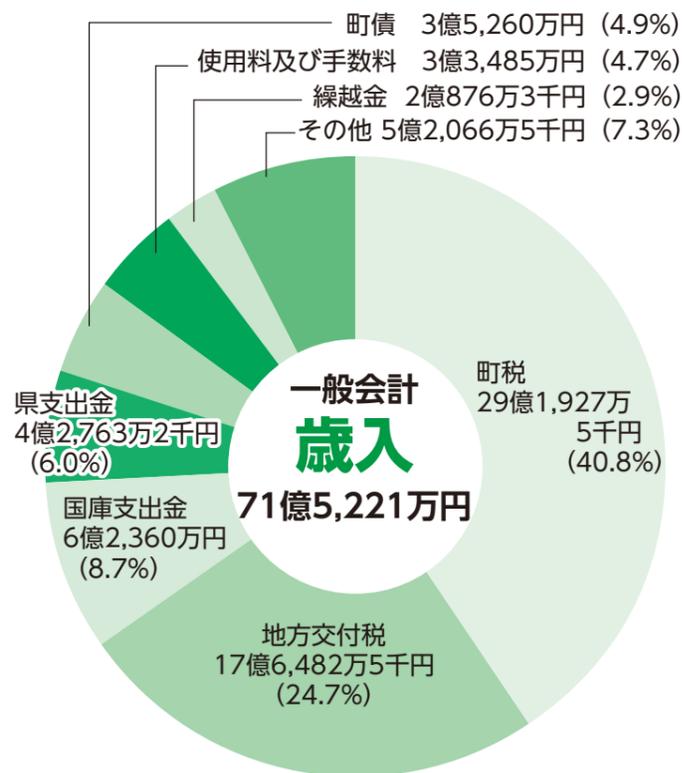
黒字決算となりました

みなさんに納めていただいた税金は、さまざまなおことに活用されています。これがどれぐらい納められ、どのように使われているかを知っていただくため、一般会計を中心に、平成23年度決算の状況をお知らせします。

町税の構成比

町税総額29億1千927万5千円（1人あたり128,162円）

町民税	49.9%	14億5千768万5千円
固定資産税	38.5%	11億2千288万8千円
都市計画税	5.5%	1億6千152万6千円
町たばこ税	5.2%	1億5千80万7千円
軽自動車税	0.9%	2千636万9千円



国民健康保険税・後期高齢者医療保険料と医療費の状況

		国民健康保険	後期高齢者医療
被保険者	世帯数	3,334 世帯	
	人数	5,723 人	2,524 人
保険税(料)		3億8千917万8千円	1億8千367万6千円
1世帯当たり		116,730円	
1人当たり		68,002円	72,772円
医療費		18億5千239万7千円	24億3千71万2千円
1世帯当たり		555,608円	
1人当たり		323,676円	963,040円
1人当たり医療費に占める保険税(料)の割合		21.0%	7.6%

9月3日から開会されました町議会定例会で、平成23年度の一般会計及び特別会計、水道事業会計の決算認定について審議され、承認されました。

昨年度に引き続き、コスト意識を持って経費の節減や合理化に取り組んだ結果、すべての会計において健全な黒字決算となりました。

さらには、災害など不測の事態に備える、町の基金(家庭では貯金)は、本年度決算時において、昨年度より3億5千840万3千円増の57億8千697万8千円となりました。

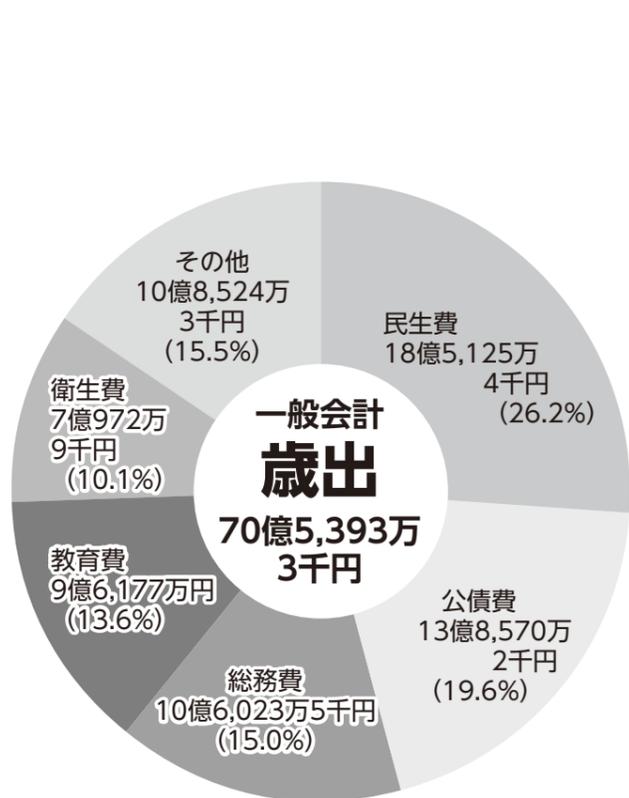
平成23年度の「福祉・医療・教育」に重点をおいた事業の概要は、「福祉分野」では、高齢者の方々が誰もが健康でいきがいを持って暮らすことのできる環境づくりを目的として、「やわらぎの手帳優遇措置事業」の拡大を昨年度に引き続き実施しました。従来の無料バスカードに加え、JRのイコカカードも選択し利用できるというもので、全国ではじめての取り組みとして、実施2年目を迎え、多くの高齢者の方々に喜んでいただいています。

「医療分野」では、住民の方々が日々健康で明るく生活を送れるよう、新たな健康づくりの指針として「王寺町健康増進計画」を策定し、協働で健康づくりを推進しています。また、「子宮頸がん予防ワクチン」「ヒブワクチン」「小児用肺炎球菌ワクチン」の3ワクチンの接種につい

て、子どもたちの疾病を予防するとともに保護者の経済的負担の軽減を図るため、全額公費負担で接種を実施しました。

「教育分野」では、学校教育施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、災害発生時には住民の方々の避難場所になることから、昨年10月には耐震補強工事がすべて完成し、子どもたちが安心して学べる環境が整いました。

このように、「福祉・医療・教育」に重点をおき「住んでいることを誇れる町」「誰もが住みたいと憧れる町」の実現に向けて、行財政運営を行っています。



歳出の主な事業

- 心身障害者福祉費 2億7千753万5千円
- 老人福祉費 2億5千679万8千円
- 児童福祉費 7億7千845万2千円
- 健康づくり推進費 6千991万5千円
- 幼稚園費 1億8千541万9千円
- 小学校費 9千957万9千円
- 中学校費 1億9千210万6千円

有収水量は、料金計算の対象となった水量で、給水人口1人1日あたり0.29㎡使用されたこととなります。

水道事業会計

水道事業は、みなさんにお支払いいただいている水道料金によってまかなう〈独立採算制〉による公営企業会計で事業を行っています。

この経営のなかで、事業の経営活動に伴って発生する収入(水道料金等)とこれに対応する支出(県水受水費等)を「収益的収支」、施設の建設、改良などに関する収入、支出を「資本的収支」として2本立てで構成しています。

【財政状況】

構成	収入	支出
収益的収支	5億9千984万円	5億1千571万円
資本的収支	3千559万円	6千626万円

【業務状況】

事項	平成23年度
給水戸数	9,380戸
給水人口	22,778人
有収水量	2,427,661㎡
1日平均有収水量	6,633㎡

(給水戸数、給水人口は平成24年3月31日現在)